

第 35 回有機地球化学シンポジウム (2017 年高知シンポジウム)

2017 年 8 月 29 日 (火) ~ 31 日 (木) 高知県立大学/高知大学

<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/kochisympo2017/organic/top.html>

1. 日程・会場

日付	時間	内容	会場
8 月 29 日 (火)	16:30~18:30	運営委員会	高知県立大学教育研究棟 1 F A106
8 月 30 日 (水)	11:00~16:30	口頭発表、 ポスター発表	高知県立大学教育研究棟 1 F A101/ A106
	16:30~17:30	総会	高知県立大学教育研究棟 1 F A101
	18:30~20:30	懇親会	居食倶楽部 旬屋
8 月 31 日 (木)	9:20~12:10	口頭発表	高知県立大学教育研究棟 1 F A101
	13:00~15:00	高知コアセン ター見学会	高知コアセンター (高知大学海洋コア 総合研究センター/海洋研究開発機構 高知コア研究所)

2. 主催・協力

主催：日本有機地球化学会

協力：高知コアセンター (高知大学海洋コア総合研究センター・海洋研究開発機構高知コア研究所)

3. プログラム

第35回有機地球化学シンポジウム プログラム			
8月30日（水）高知県立大学 教育研究棟 A101			
10:00-11:00	受付		
11:00-11:15	開会の挨拶・諸連絡		
シンポジウム1（A101） 座長：未定			
11:15-11:35	0-01	○鈴木 徳行・田中 諒, 小池 恒太郎, 服部 佑也(北大, 理学院)	大深度天然ガスの有機地球化学的諸問題
11:35-11:55	0-02	○奥村 文章、鬼嶋 正則、早稲田 周、西田 英毅、中島 秀幸(石油資源開発(株))	原油のフィンガープリント解析技術の国内油田への適用
11:55-12:15	0-03	眞弓大介、持丸華子、玉木秀幸、山本京祐、吉岡秀佳、鈴木祐一郎、鎌形洋一、○坂田将(産総研)	石炭を直接利用するメタン生成菌の代謝様式
12:15-13:20	昼食		

シンポジウム2(A101) 座長:未定			
13:20-13:40	0-04	○井尻暁(海洋研究開発機構)	メタンの同位体分子温度指標を用いた海底下地殻内環境の調査
13:40-14:00	0-05	○山本正伸・土屋優子(北海道大学)・ヨンソンファン・スティークレメンス(ブラウン大学)	更新世インド東部におけるC3/C4植物植生比変動
14:00-14:20	0-06	○鈴木健太(北海道大学)	北西インドにおける過去1,000万年間のC3/C4植物の植生変化
14:20-14:40	0-07	○宮田佳樹・堀内晶子・宮内信雄・吉田邦夫(金沢大学)	土器残存有機物の脂質と安定同位体組成による縄文時代の海産物利用の評価
14:40-15:00	0-08	○井上源喜・堀 柚希・山田 桂(大妻女大・社情)・谷 幸則(静岡県大・食品栄養)・大上和敏・川野田寛夫(大分大・教育)	大分県日田市地域の筑後川水系における泡状物質の有機地球化学的研究
協賛企業による新製品などの紹介(A101)			
15:00-15:10	G-01	○久語良太郎(アジレント・テクノロジー株式会社)	アジレント・テクノロジー分析装置のご紹介
15:10-15:20	G-02	○大井直之(株式会社クリムゾン インタラクティブ ジャパン)	良い英文校正会社の見分け方
ポスターセッション(A106)			
15:20-16:20	P-01	○宮嶋佑典(京都大学)・井尻 暁(海洋研究開発機構)・後藤(桜井) 晶子(金沢大学)・長谷川 卓(金沢大学)	日本海側中新統～更新統のメタン湧水炭酸塩岩から抽出した炭化水素ガスの炭素同位体比トレンドと熱成熟度の関係
	P-02	○宝来俊育・奈良岡浩(九州大学)・宮崎淳一・眞壁明子(海洋研究開発機構)	沖縄トラフ熱水チムニーのテトラエーテル脂質分布
	P-03	○重野洋人(島根大)・三瓶良和(島根大)	山口県北西部に分布する漸新統日置層群および中新統油谷層群とその沖合い層の泥質岩に関する有機地球化学的研究
	P-04	○田所良幸(創価大学)・中富伸幸(創価大学)・樋口純平(創価大学)・岡地賢(有限会社コーラルクエスト)・山本修一(創価大学)	安定同位体比を用いたオニヒトデ幼生の食性解析
	P-05	○瀬川 雄大(北海道大学)・山本正伸(北海道大学)・加三千宣(愛媛大学)・竹村恵二(京都大学)	バイオマーカーを用いた別府湾堆積物コア中の洪水層の同定
	P-06	○竹原 景子・中國 正寿・山本 修一(創価大学)	バイカル湖堆積物に記録された完新世気候変動の解析
	P-07	○長山 美紗紀・山根 美幸・瀬川 秀平・中國正寿・山本修一(創価大学院)	河川水中DOM画分におけるリグニンフェノールの組成変化とその特徴
	P-08	○新井和乃・池原実(高知大学)	高知コアセンター分析装置群共用システム
16:20-16:30	休憩		
16:30-17:30	総会 (A101)		
18:30-21:00	懇親会 (居食倶楽部 旬屋)		

8月31日（木） 高知県立大学 教育研究棟 A101			
シンポジウム3(A101) 座長:未定			
9:20-9:40	0-09	○中国 正寿・大力 千恵子・Kaur Gurpreet・竹原 景子・山本 修一（創価大学）	過去4万年間におけるカリフォルニア沖の貧酸素水塊の変動の解明:スタノール/ステロール比をもちいた新しいアプローチ
9:40-10:00	0-10	○沢田 健、二宮 奈津美、小林 まどか、中村 英人（北海道大学）	東部赤道太平洋の堆積物コアの藻類バイオマーカー分析による鮮新世以降の海洋表層環境変動の復元
10:00-10:20	0-11	○矢能 冴紀、風呂田 郷史、 沢田 健（北海道大学）	北大西洋ポルトガル西沖の堆積物の植物バイオマーカー分析:古植生指標の検討
10:20-10:40	休憩		
10:40-11:00	0-12	○山内 敬明（九州大学）	好塩性アーキアが生産する脂質コア中の不飽和アーキオール誘導体の構造決定の試み
11:00-11:20	0-13	○伊左治雄太（東京大学）、川幡穂高、高野淑識、小川奈々子、黒田潤一郎、吉村寿紘、Francisco J. Jiménez-Espejo、Stefano Lugli、Vinicio Manzi、Marco Roveri、大河内直彦	ポルフィリン窒素同位体比から明らかにする地中海塩分危機時の窒素循環
11:20-11:40	0-14	○大場 康弘（北大低温研）、高野 淑識（JAMSTEC）、奈良岡 浩（九大院理）、香内 晃（北大低温研）、渡部 直樹（北大低温研）	宇宙での化学進化におけるヘキサメチレンテトラミンの役割
11:40-12:00	0-15	○奈良岡浩、宝来俊育、山内敬明（九大理）	古細菌脂質分子のオービトラップ超高分解能質量分析
12:00-12:10	閉会の挨拶		
12:10-13:00	昼食		
13:00-13:30	移動（高知県立大学～高知大学海洋コア総合研究センター）貸し切りバス（予定）		
高知コアセンター見学会 座長: 池原 実			
13:30-15:00	コア保管庫ツアー、ラボツアーほか		
15:00	解散		

4. 発表方法に関する注意事項

- 1) 口頭発表時間は 1 件あたり質疑応答も含め 20 分です。時間厳守をお願いします。口頭発表では、液晶プロジェクターを使用します。USB メモリ等でご持参いただき講演当日の朝・休憩時間・昼休み等に会場の PC (Windows1 台、Mac1 台) にコピーして下さい。ファイル名は「O-01_Ikehara.ppt」のように、「講演番号、アンダーバー、筆頭講演者名、拡張子 (.ppt)」としてください。ご自分の PC を使用する方は事前にご相談ください。
- 2) ポスター発表は、A0 サイズ(縦 84cm×横 120cm : 横長)を推奨いたします。会場に展示用パネル (縦 90cm × 横 120cm) を用意しますので、パネルに貼れるものであればどのような形でも結構です。ポスターは、8 月 30 日 10 時半頃から掲示できる見込みです。なお、ポスターは 8 月 31 日昼までに各自で撤収して下さい。

5. 参加費・懇親会費

- ・参加費（講演要旨含）：正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円（非会員：一般 4,000 円、学生 2,000 円）
- ・懇親会費：一般 5,500 円、学生 4,000 円（予定）

6. 協賛企業展示

ポスター会場（A106）に、協賛企業による展示ブースを設けます。

7. 会場案内

高知県立大学（永国寺キャンパス） 高知県高知市永国寺町 2 番 22 号

（アクセス情報 <http://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/1/access-eikokuji.html>）



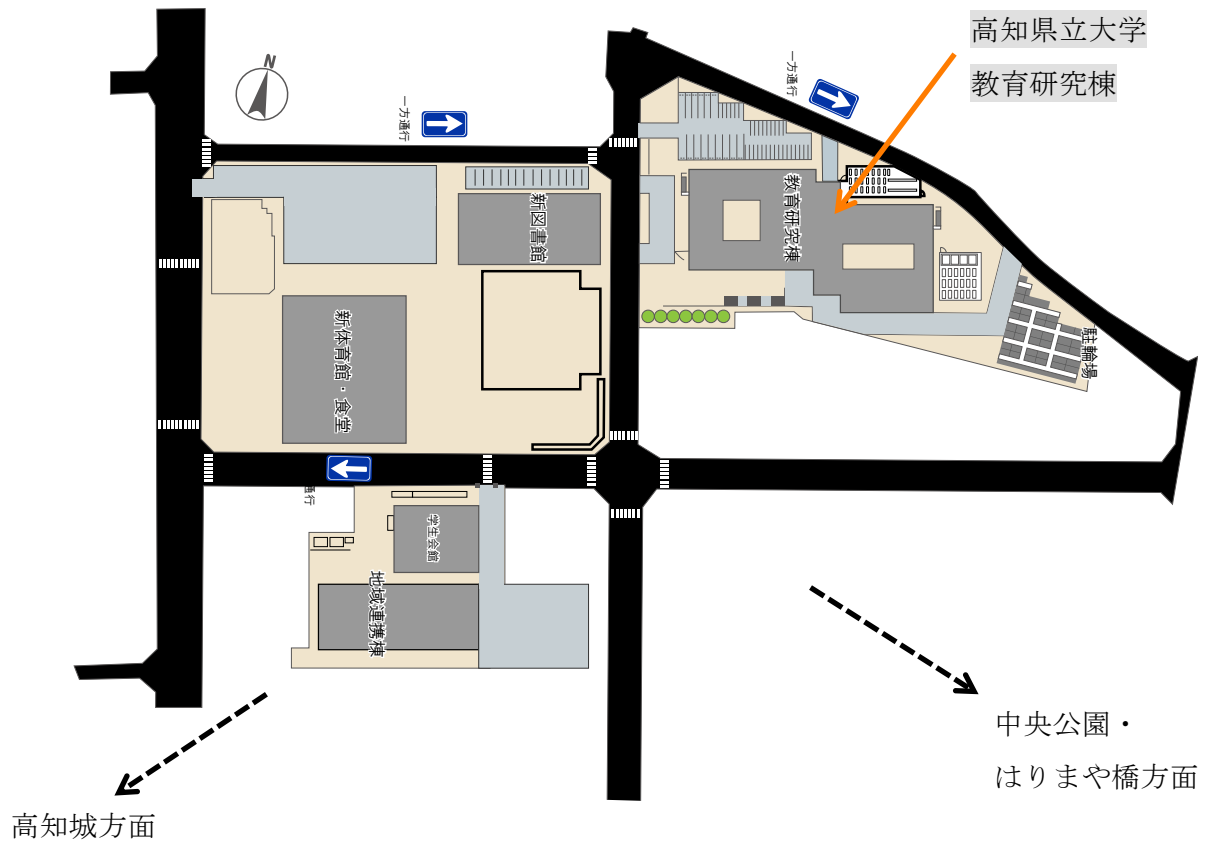
(<http://www.u-kochi.ac.jp/>)

○高知龍馬空港から高知県立大学へ

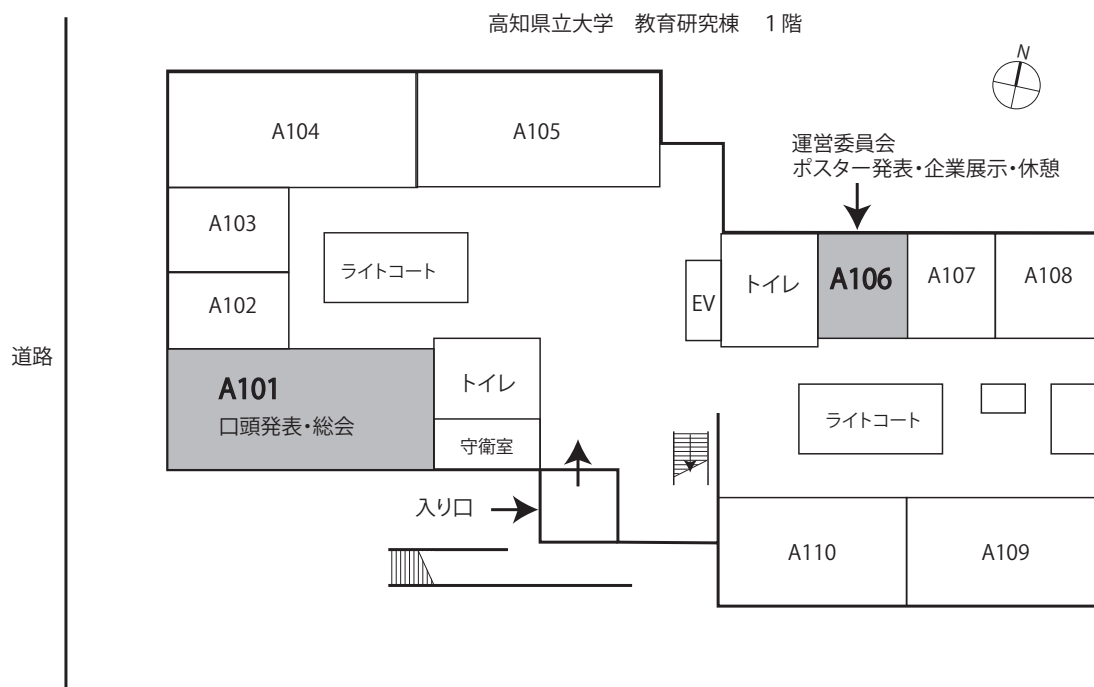
空港連絡バスを利用して「はりまや橋」もしくは「JR 高知駅」下車、徒歩約 20 分

○JR 高知駅から高知県立大学へ

徒歩約 20 分



高知県立大学 教育研究棟



(懇親会) 居食倶楽部 旬屋 (じゅんや) 高知県大川筋 1-3-39 土佐建材ビル 1F
(店舗紹介サイトの例: <http://www.zukan.co.jp/2009data/kappo-ryotei/junya/index.html>)



高知大学海洋コア総合研究センター 高知県南国市物部乙 200
(アクセス情報 <http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/inquiry/index.html>)



8. 高知コアセンター見学会（8/31 午後）

高知シンポジウム閉会后、高知県立大学から高知コアセンターまで貸し切りバスもしくはジャンボタクシー数台にて移動する予定（13 時出発）です。見学会参加申込者全員が移動できるよう実行委員会側で手配します。見学会終了後、現地にて解散となります。

9. その他の注意事項

・シンポジウム期間中、高知県立大学キャンパス内の生協食堂は閉店しています。各自で昼食をご用意くださるか、市街の飲食店、コンビニなどをご利用下さい。8 月 30 日はキャンパス内のショップが開店している予定です。

10. 高知シンポジウム実行委員会

池原実（高知大学）、井尻暁（海洋研究開発機構）、一色健司（高知県立大学）

11. 問い合わせ先

池原実（IKEHARA, Minoru）

〒783-8502 高知県南国市物部乙 200

高知大学海洋コア総合研究センター

(TEL) 088-864-6719

(E-mail) ikehara@kochi-u.ac.jp